

令和4年度（福）ふじみ野福祉会 事業報告

法人理念

利用者・家族・職員の3つの笑顔を大切に地域に根ざした施設づくり

利用者さんの笑顔は良質なサービスを提供することによって生まれ、家族の笑顔は安心して介護を依頼できることによって生まれ、職員の笑顔は福祉というやりがいのある仕事を通じて得られる充実感から生まれ、それらの活動を通じて地域福祉を推進していくという意味が込められております。

利用者の尊厳ある生活を守り継続する施設づくり「生存」から「生活」へ

利用者の「食べる」「寝る」「排泄」「入浴」といった単なる「生存」のためのサービス提供で終わるのではなく、利用者が「学ぶ」「遊ぶ」「話す」「創造する」「安らぐ」といった生存を超えた「生活」行為を支援するためのサービスを提供することによって、利用者の尊厳ある生活を守り継続していくことができます。介護の視点を「生存」から「生活」へと変えることにより、利用者が地域のなかで尊厳ある生活を維持しながら、生き生きと生活できる施設づくりしていくという意味が込められております。

運営方針

- ・ 制約をなくし、利用者の自己決定の尊重をサービス提供の視点とする
- ・ 高齢者の地域生活を支える拠点を目指す
- ・ 小中学校や地域の行事を通じて地域の人々と交流を図る
- ・ 第三者のサービス評価を受け、運営の改善に努める

1 事務局

総合目標

- ・ 全事業が安定的に運営できるよう法人全体の課題解決に取り組めます。

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 大規模修繕の検討	① 中長期建物保全計画を基に大規模修繕の検討を行い、入れ替えが必要な物品は都度入れ替えました。
(2) 事業継続	① 特養むさしので新型コロナウイルスのクラスターが発生してしまいましたが、各事業を停止することなく、運営することが出来ました。
(3) 新規事業の検討	① 各行政機関等と調整し検討いたしましたが、実施には至りませんでした。

(4) 役員会等	① 監事監査（令和４年５月２３日） 令和３年度の理事の職務の執行についての監査 ② 理事会 ○第１回（令和４年６月４日） 報告事項 1. 理事長の職務の執行状況について 議 案 第１号議案 令和３年度事業報告及び決算報告について 第２号議案 （仮称）グループホームふじみの整備計画の中止について 第３号議案 評議員会の招集（案）について ○第２回（令和４年９月１７日） 報告事項 1. 新型コロナウイルス感染対応について 議 案 第１号議案 ヘルパーステーションむさしの廃止（案）について 第２号議案 （福）ふじみ野福社会 給与・退職金規程一部改正（案）について 第３号議案 介護保険システムソフト一式のリース契約締結（案）について 第４号議案 評議員会の招集（案）について ○第３回（令和４年１１月１９日） 報告事項 1. 理事長の職務の執行状況について 2. 評議員の辞任について 議 案 第１号議案 第１次補正予算書（案）について 第２号議案 福祉車両の入札（案）について（むさしの） 第３号議案 ナースコール及び電話機の入札（案）について（むさしの） 第４号議案 （福）ふじみ野福社会 給与・退職金規程一部改正（案）について 第５号議案 （福）ふじみ野福社会 組織規程一部改正（案）について 第６号議案 評議員選任・解任委員会の招集決議（案）について 第７号議案 評議員候補者の選定（案）について 第８号議案 評議員会の招集（案）について
-----------------	---

	○第4回（令和5年3月18日） 議 案 第1号議案 第2次補正予算書（案）について 第2号議案 福祉車両の入札結果について むさしの 第3号議案 ナースコール及び電話機の入札結果について むさしの 第4号議案 福祉車両のリース契約締結（案）について 第5号議案 ナースコール及び電話機のリース契約締結（案）について 第6号議案 介護保険システムソフト一式のリース契約締結（案）について 第7号議案 （福）ふじみ野福社会 就業規則一部改正（案）について 第8号議案 （福）ふじみ野福社会 給与・退職金規程一部改正（案）について 第9号議案 （福）ふじみ野福社会 パートタイマー・非常勤職員等の就業規則一部改正（案）について 第10号議案 令和5年度事業計画並びに予算書（案）について 第11号議案 評議員会の招集（案）について ③ 評議委員会 ○第1回（令和4年6月25日） 報告事項 1. 理事長の職務の執行状況について 議 案 第1号議案 令和3年度事業報告及び決算報告について 第2号議案 （仮称）グループホームふじみの整備計画の中止について ○第2回（令和4年9月24日） 報告事項 1. 新型コロナウイルス感染対応について 議 案 第1号議案 ヘルパーステーションむさしの廃止（案）について 第2号議案 （福）ふじみ野福社会 給与・退職金規程一部改正（案）について 第3号議案 介護保険システムソフト一式のリース契約締結（案）について ○第3回（令和4年11月26日） 報告事項 1. 評議員の辞任について 2. 評議員の選任について 3. 理事長の職務の執行状況について
--	--

	議 案 第1号議案 第1次補正予算書（案）について 第2号議案 福祉車両の入札（案）について（むさしの） 第3号議案 ナースコール及び電話機の入札（案）について（むさしの） ○第4回（令和5年3月25日） 議 案 第1号議案 第2次補正予算書（案）について 第2号議案 福祉車両の入札結果について むさしの 第3号議案 ナースコール及び電話機の入札結果について むさしの 第4号議案 福祉車両のリース契約締結（案）について 第5号議案 ナースコール及び電話機のリース契約締結（案）について 第6号議案 介護保険システムソフト一式のリース契約締結（案）について 第7号議案 令和5年度事業計画並びに予算書（案）について
--	---

2 管理課

総合目標及び課題

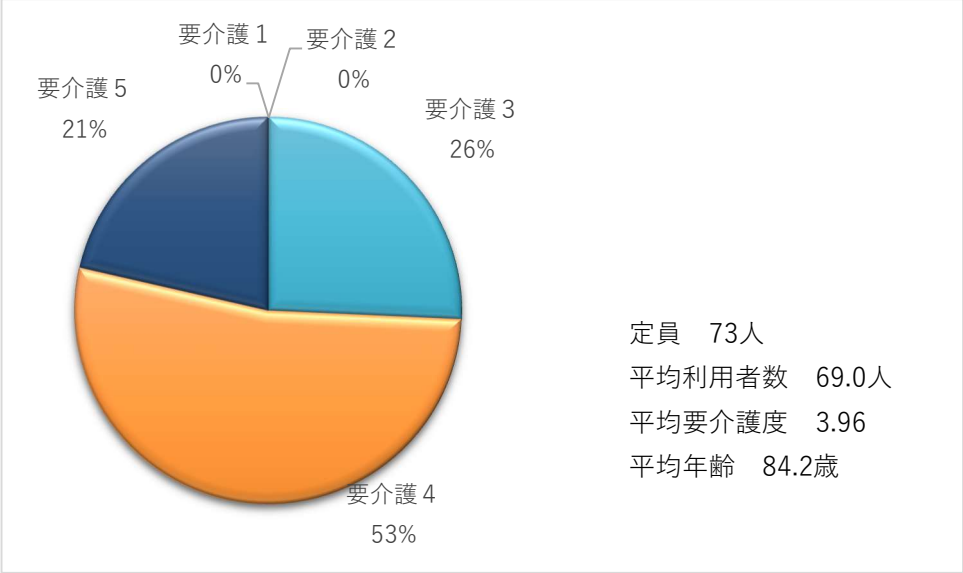
- ・職員が安心して働けるような職場環境を整備します。

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 職員の定着	① 職員間のコミュニケーションを大切にし、新規入職職員が安心して働ける環境作りに努めました。
(2) 職員のスキルアップ	① 研修受講サイトへの登録を行い、積極的な研修参加への働きかけを行いました。 ② 試験受験者や研修参加者への積極的な制度適用を実施しました。  <資格取得者表彰の様子>
(3) 職場環境の整備	① 業務が円滑に行えるよう、備品の状態確認・管理と適宜修繕を行いました。 ② 職場の衛生環境に気を配り、備品の整理整頓と消耗品の補充を行いました。

3 あんしん生活課

総合目標及び課題

- ・丁寧な接遇を意識し、安心安全な介護サービスを提供します。
- ・職種間連携を強化し、ケアの統一や資質向上に努めます。



介護

重点目標及び課題	具体的取組み		
(1) 利用者及び職員間での接遇の徹底	① 敬語を使用し、丁寧な言葉を使用することを意識し、コミュニケーションを取るよう努めました。		
	② 職員間でも「さん」付けをしてコミュニケーションを図り、挨拶の徹底をしました。		
(2) 職員間及び多職種との連携の強化（ケアの質の向上）	① 日常的なコミュニケーションや申し送り、フロア会議などを通して、利用者様の状態の変化に対して全職員が同じ対応が出来る様、業務を進めることが出来ました。		
	② 入職時、他職種の業務体験を行いました。介護だけでなく、他の職種の業務を垣間見る事により、利用者様の生活を守る為の環境への理解が深まりました。		
(3) 生活の質の向上	① 行事も含め、なかなか多くの実施には至りませんでしたが、各職員が自分の得意なことを生かし、編み物や、その月にちなんだフロアの飾りつけなど、施設の中で季節の変化を理解して頂くよう、努めました。		
	② お誕生日当日には、ご本人用にケーキを準備させて頂き、写真撮影と共に、ケーキを召し上がって頂きました。		
(4) 年間諸行事			
	実施月	行事	実施日
	4 月	お花見行事食	4 月 7 日
		行事食	4 月 1 9 日

	5 月	端午の節句行事食	5 月 5 日
		行事食	5 月 2 4 日
		菖蒲湯	5 月第 2 週目
	6 月	行事食	6 月 9 日
		行事食	6 月 2 2 日
	7 月	七夕行事 行事食	7 月 7 日
		行事食	7 月 2 6 日
	8 月	行事食	8 月 4 日
		行事食	8 月 2 4 日
	9 月	行事食	9 月 8 日
		行事食	9 月 1 5 日
		長寿を祝う会	9 月 1 7 日
	10 月	秋祭り	1 0 月 1 2 ・ 1 3 日
		行事食	1 0 月 1 6 日
		行事食	1 0 月 1 6 日
	11 月	行事食	1 1 月 1 日
		はまち解体ショー	1 1 月 2 3 日
	12 月	もちつき行事	1 2 月 1 5 日
	1 月	おせち	1 月 1 日
		行事食	1 月 1 8 日
	2 月	行事食	2 月 3 日
		行事食	2 月 2 1 日
	3 月	雛祭り行事 行事食	3 月 3 日
		行事食	3 月 2 3 日

看護

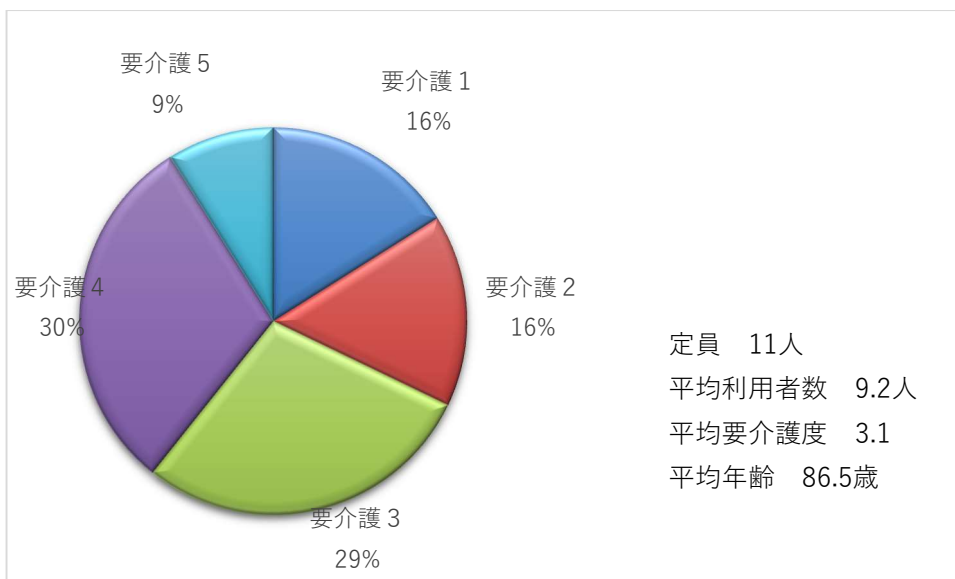
重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 利用者の健康管理、異常時の適切な対応	① 利用者の異常時には、既往や服薬状況を確認して、適宜医師へ報告し必要時受診対応を行いました。 ② 急変時に適切な対応が取れるように、必要物品の見直しや配置、連絡方法の再確認を他職種と話し合いました。
(2) 感染対策	① 感染が拡大しないよう他部門との情報共有を行いながら、感染対策を行うとともに適切な指導を行いました。

(3) 医療知識の向上	① 看護師全員が同じレベルで対応できるよう、情報の共有を行いました。 ② わからないことや曖昧なことは、医師へ教えてもらい知識の向上に努めました。
-------------	--

リハビリ

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 心身の活性化及び筋力維持	① 利用者の身体機能やニーズに合わせ歩行訓練や立ち上がり訓練、立位訓練を行いました。 ② 利用者の ADL やニーズに合わせ「歩く事」「体を動かす事」を実施し日々の変化を評価表や計画書に反映させました。 ③ 各ユニットから体操したい利用者を集まって頂き、週 2 回、ボールや棒を使用しレク体操を継続して実施しました。
(2) ご利用者の FIM（機能的自立度評価）を作成する	① 機能訓練を行うにあたり日常生活動作、基本動作、身体状況を把握するため評価表を作成しました。 ② 全ての介護職員、看護職員とは共有はできませんでしたが、数名の職員と話し合い ADL 維持向上に努めました。

ショート



相談

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 入所者確保と入所に向けた取り組み	① 随時、入所相談を実施しました。重要事項説明書を用いてご家族やご本人の不安要素を確認・解消出来るよう丁寧に説明し対応を行いました。 ② 今年度は緊急受け入れ（措置入所）はありませんでした。今後も関係機関等と連携を図り、積極的に受け入れができるよう努めます。 ③ 入所申込みをされた方へ状況確認を行い、入所希望の方に対しスムーズに入所して頂けるよう努めました。

(2) 稼働率維持・向上に向けた取り組み	① 年間特養入所稼働率 93.3%となりました。目標値に対して 4.2%の減少となり目標到達には至りませんでした。低下要因として入院者及び入院日数の増加と空床期間の増加が挙げられます。入院延べ日数は 817 日、昨年度比 131 日の増加、平均入院日数 29.2 日、1 日平均入院者数 2.0 人となりました。また、本入所の空床については退所者 23 人、昨年度比で 3 名の減少、390 日間の増加となりました。平均空床期間 32.5 日、施設内で新型コロナウイルス感染症が発生したことにより新規入所者の受入れを中止したことが安定確保に欠けてしまった要因と挙げられます。引き続き、空床期間減少が課題となります。 ② 年間 SS 利用稼働率 83.6%となりました。昨年度比で 8.4%の減少となり、目標稼働率を下回りました。新規利用者 26 名の受入れを実施しました。低下要因としては、特養内で流行した新型コロナウイルス感染症にて一時、定期利用者の受入れや新規の紹介を中止したことが挙げられます。今後は定期利用者の安定利用及び新規利用者の確保が課題となります。 ③ 入所検討委員会を月 1 回実施し、優先入所指針に沿って待機者の安定確保に努めました。
(3) 医療希望者及び看取り希望者へのアプローチ	① 状態変化が見られた際に都度、ご家族に情報提供実施し治療が出来るよう迅速に対応しました。また、入院者には都度、医療機関と連携を図り情報提供に努めました。 ② ご家族に事前に意思確認させて頂き、終末期を施設で迎えるための取り組みの指針をもとに説明・同意を得た上で看取り介護を実施しました。 ③ 医療頻度の高い利用者の受入れ体制が整わず、新規利用者に対しての受け入れができませんでした。
(4) 自立支援に向けたケアプランの作成	① 利用者の心身の状況及びニーズに基づき、ケアプランの作成に努めましたがケアプラン作成において未実施な部分があり今後の課題となりました。 ② ケアカンファレンスの実施や利用者及びご家族への説明等が未実施な部分があり今後の課題となりました。

・生計困難者に対する相談支援事業

総合目標及び課題

・社会福祉法人として目に見える形で公益活動を実践するため、地域の援護を必要とする方に訪問相談等を行い、必要なサービスに繋ぐことをします。そして、生活保護等での既存制度では対応できない方で、経済的困窮により医療や介護サービスの利用が霜害されている場合、その費用等の全部または一部を支援する経済的援助を行います。

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 担当相談員の配置並びに相談活	① 担当相談員を配置し、地域の生活困窮者に対する課題の解決に努めました。社会福祉協議会の生活困窮者担当支援員の方との支援相談やあんしんセーフティネット

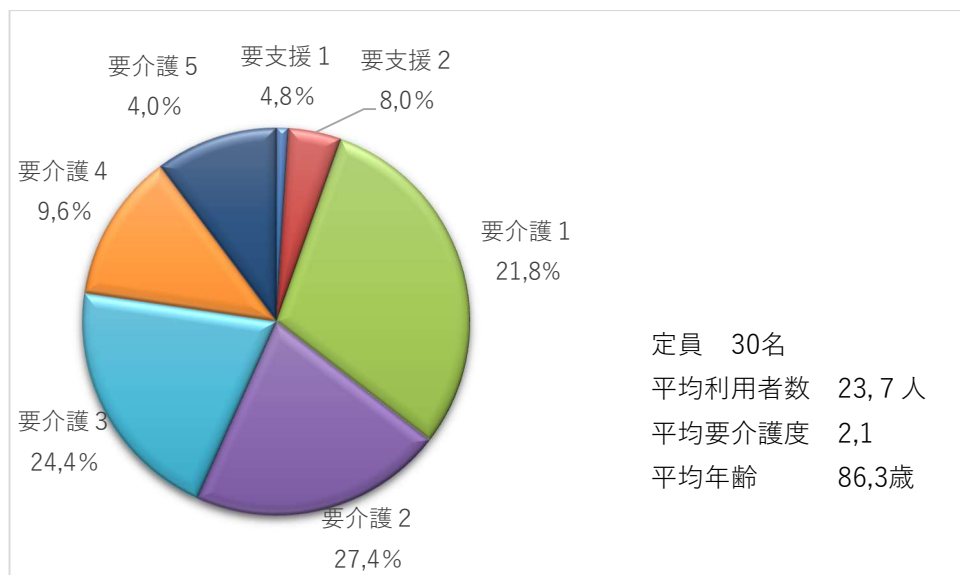
動	事業での課題解決への相談は継続的に受入れ体制を整えています。 ② コロナ渦において、生活困窮者の増加が懸念されましたが、相談は 2 件でその中で実績は 1 件となりました。今後も継続して、経済的援助のみに限らず総合相談としてトータルに支援するよう実施いたします。
(2) 援助活動	① 令和 4 年度は経済的援助の実績は 1 件でした。彩の国あんしんセーフティネット事業担当者より相談を受け経済的援助の必要性を判断し迅速に対応することが出来ました。 ② 施設長は報告を受け、経済的援助の可否を決定しました。
(3) 研修会の参加	① 令和 4 年度はブロック別研修会議への参加ありませんでした。 ② 令和 4 年 5 月 2 日～6 月 17 日 Web での動画配信にて 5/13・6/17 に彩の国あんしんセーフティネット事業担当者相談員養成研修に参加しました。 令和 4 年 9/16 オンラインで彩の国あんしんセーフティネット事業担当者相談員養成研修に参加しました。

4 地域課

総合目標及び課題

- ・それぞれの事業が感染予防対策を続けながら、必要なサービス提供が継続できるような体制を作ります。

デイサービスセンター



重点目標及び課題	具体的取組み
(1)介護	① 利用者の身体状態、既往歴を把握し、手伝い過ぎない介護を実施しました。入浴では同性介助、食事は選択食の提供を継続しました。また、月1回の行事を実施して利用者に楽しんでもらえるように努めました。 ② 毎月のフロア会議でヒヤリハット、事故報告について検証を行い、再発防止に努めました。 ③ サービス提供時間中は決められた時間で換気し、感染予防に努めました。
(2)看護	① 行きの送迎時に正確な検温の為、腋下検温を継続して行いました。 ② 急変時の対応が迅速に行えるように介護職員、看護職員と連携を図りながら対応しました。
(3)リハビリ	① 機能訓練の指導者を柔道整復師だけでなく、看護職員でも実施し、利用者が増加しました。
(4)相談	① 利用希望があった場合は可能な限りの調整を行い、迅速に対応しました。家族、ケアマネジャーへの連絡、報告を円滑に行いました。
(5)運転	① 事故なく安全に業務を行えました。また、送迎車の消毒、換気を徹底し、感染予防に努めました。

(6)通所型サービス A の実施	① 要支援の方でも積極的に受け入れを行いました。要支援の利用者は延べ 1024 人（前年度 425 人）となりました。
(7)稼働率維持・向上に向けた取り組み	① 月平均稼働率は 85.4%で目標を達成することが出来ました。



新緑散策行事

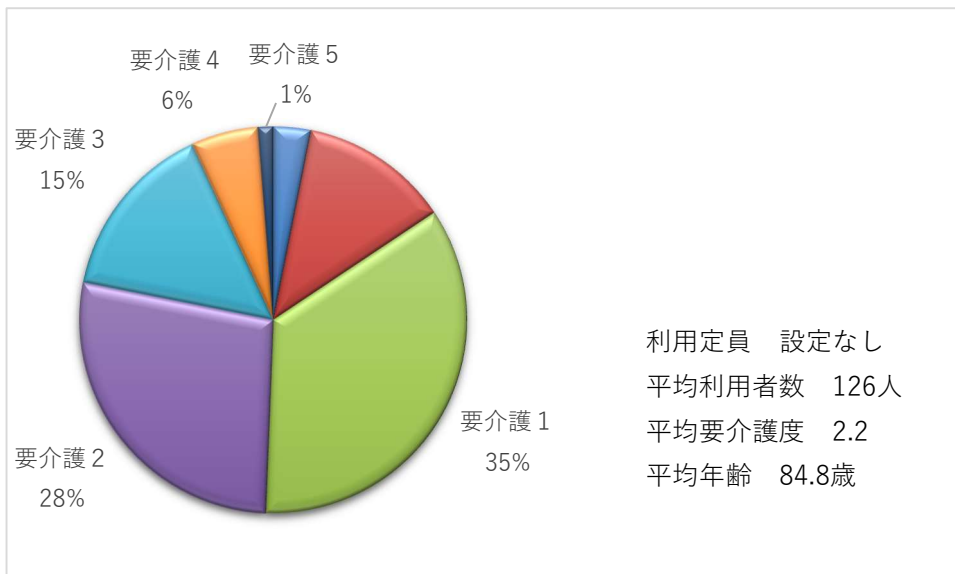


ハロウィン秋祭り



クリスマス行事

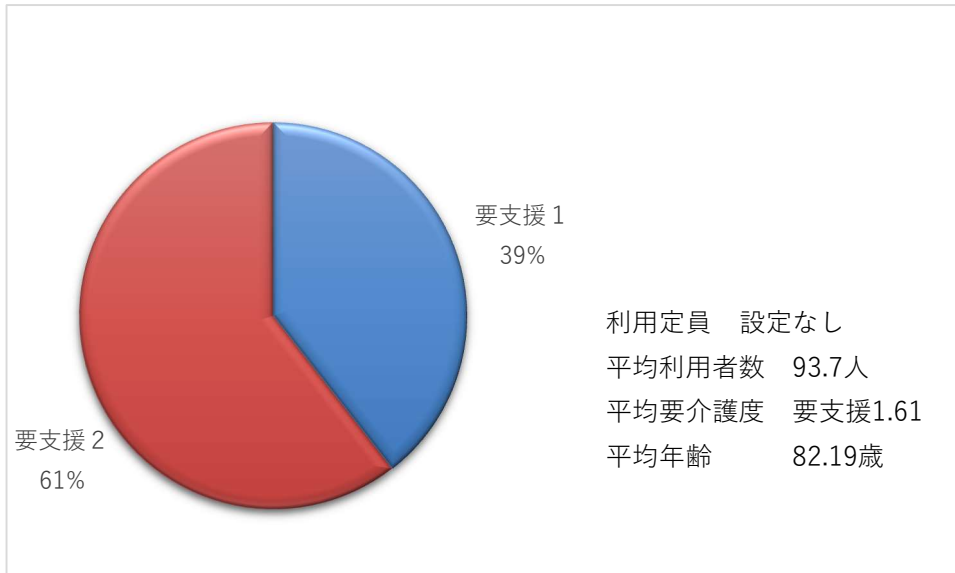
居宅介護支援事業



重点目標及び課題	具体的取組み
(1) ケアマネジメントの標準化	① 職員それぞれの担当ケースを事例として取扱い、事業所内で検討しました。1つの考え方ではなく、色々な視点や考え方を確認することが出来ました。 ② 月に1回の支援会議を開催し、事業所間での情報共有に努めました。 ③ 指導を受けた内容を踏まえ、今までの業務内容（記録内容、評価方法など）を見直しました。
(2) 職員のスキルアップ	① 外部研修に参加した内容（終末期医療の倫理、医療と介護連携の会、ケアマネジャーの業務効率化、パーキンソン病のリハビリテーション、虐待防止等の研修） ② 業務継続計画、感染症の予防、虐待の防止についてそれぞれの担当者を決めて指針、マニュアル等、整備を進めていますが不十分でした。

(3) プラン作成率維持・向上に向けた取り組み	① 要介護、要支援の月平均のケアプラン作成率は 82.3%で目標を達成することは出来ませんでした。 ② 新規 36 名受入を実施しました。年間の要介護の請求合計は 1476 件となり、前年度より、38 件減少となりました。
-------------------------	---

地域包括支援センター



重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 総合的な相談支援	① 令和 4 年度の相談実人数は 8 1 8 人でした。(内電話 4 5 4 人、訪問 3 3 2 人など) ※参考 令和 3 年度 699 人、令和 2 年度 645 人、令和元年度/平成 31 年度 808 人、平成 30 年度 825 人、平成 29 年度 691 人 ② 相談件数はコロナ禍前より、回復。感染予防が広がったことから訪問を断られることもほとんどなくなり、積極的に訪問相談を行いました。コロナ禍 3 年目となると、生活不活発による心身機能低下の相談が多くなってきました。そこで介護保険申請による介護予防や地域での活動や見守りに繋がるふれあいサロン、健康増進センターはつつ教室、ふじみ在宅福祉サービスセンターなどの社会資源の紹介や介入を行いました。 <開催・参加> ・出前講座（各ふれあいサロン 6 回）、健康講座（南畑 1～5 町会）、南畑・勝瀬民生委員協議会との意見交換会、出前相談会（南畑ふるさとまつり）
(2) 権利擁護、虐待の早期発見・防止	① 市役所やケアマネジャーとの虐待情報共有や初動を迅速に行い、必要時はコアメンバー会議を通して支援方針を統一しました。また、5 圏域で構成される社会福祉士部会では、迅速かつ的確な支援ができるよう高齢者虐待支援マニュアルを整理しました。 ② 日常生活自立支援事業（あんしんサポートねっと）の活用

	③ 成年後見センターふじみに紹介や司法書士・行政書士との連携協働による直接的な支援を行いました。 ＜実施・参加＞ ・ 出前講座やふれあいサロン、むさしの便りなどを通して消費者被害防止の啓発 ・ 成年後見と生活保護事例研修（１１月） ・ 富士見市高齢者消費者被害防止連絡会議（１月）
(3) ケアマネジャーへの支援	① 介護予防支援マネジメントを委託しているケアマネジャーには、新規や更新時にケアプランの確認と指導をしました。（年末委託数 50 件） ② ケアマネジャー支援としての個別相談（サービス利用、認知症、家族介護、権利擁護、苦情処理など。実人数 57 人、延べ 98 人） ＜開催・参加＞ ・ ５圏域協働によるケアマネ研修会（10 月）、ケアマネサロン「クラージュ」（６回）
(4) 介護予防ケアマネジメント	① 実態把握（年間 222 件）や予防プラン(自プラン)（年度末 44 件）を通して課題把握と具体的な介護予防マネジメントに取り組みました。 ② 健康増進センターとの連携による介護者教室開催（２回） 「家族介護支援の中の健康への取り組み」 ～介護をしながらもいきいきとした高齢期を過ごすために～ ③ 自立支援活動をする人や団体、制度、機関などの社会資源をいつでも誰でも活用できるように社会資源マニュアルを作成しました。
(5) 医療・介護連携	① 医療機関や介護事業所との連携強化に努めました。 ＜開催・参加＞ ・ 医療と介護の連携の会多職種研修(２市１町)（２回） ・ 東入間医師会多職種研修会（１回） ・ 入退院支援ルール会議（３回 入退院連携シートの作成・周知・活用） ・ 地域密着型運営推進会議 （デイサービスセンター南畑（９・３月）・デイサービス凜（４月）） ・ 高齢者見守りネットワーク（新規 2 件、再承諾 8 件）
(6) その他	① 地域ケア会議（７回） ＜開催・参加＞ ・ 個別会議（要介護プラン 3 回） ・ 介護予防支援ケア会議（要支援プラン 2 回） ・ 圏域会議（地域事例 3 回） (1) 7/21「南畑地域における避難行動要支援者と地域とのかかわりについて」 (2) 11/28「高齢者ふれあいサロンのこれからについて～高齢化率が高くなる地域で～」

	(3) 2/13「認知症高齢者に対する地域の見守りと連携について～地域での関わり方～」 ② 認知症地域支援推進 高齢者福祉課、認知症地域支援推進員、認知症サポーター、医師などとの連携・協働 <開催・参加> ・ 認知症サポーター養成講座（9回）・認知症サポーターフォローアップ講座（1回） ・ チームオレンジ座談会（2月） ・ 認知症相談（オレンジダイヤル（9月）・認知症ケア相談室（随時）） ・ オレンジカフェ「南畑いこいば」（5回）・オレンジカフェ「渡戸3」（6回） ・ 認知症地域支援推進員会議（毎月） ・ オレンジコーディネーター研修（8月） ・ 認知症地域支援推進員現任研修（8月） ・ 認知症初期集中チーム員会議（1月） ③ 生活支援体制整備事業 地域や高齢者福祉課、生活支援コーディネーターなどとの連携・協働 <参加> ・ 第2層南畑地域会議（1月） ・ 第1層おとなりフェス（2月） ・ 重層的支援体制整備事業研修（11月） ④ 家族介護者（ケアラー）支援 健康増進センター、生活サポートセンター、子ども未来応援センターなどとの連携・協働 <開催・参加> ・ 健康増進センターとの連携による介護者教室（2回） ・ ヤングケアラー支援のための教育・福祉合同研修会（11月） ⑤ 感染防止対策 国や県、市、法人などの方針に従い、滞りなく事業を実施することができました。 ⑥ 非常災害対策 包括内会議において BCP 策定や災害対策を周知し検討しました。 <参加> ・ 訪問・通所における BCP 研修（9月） ・ BCP 策定 研修と訓練（10月） ・ 令和4年度ケアマネ大学実践者コース「ケアマネに求められる災害の知識と平時の備え」（12月） ⑦ 地域行事への参加・協力
--	---

	<参加>・南畑環境美化活動（6・12月）・南畑ふるさとまつり（3月）   【介護者教室】健康増進センター 【出前相談会】南畑ふるさとまつり
--	--

配食サービス

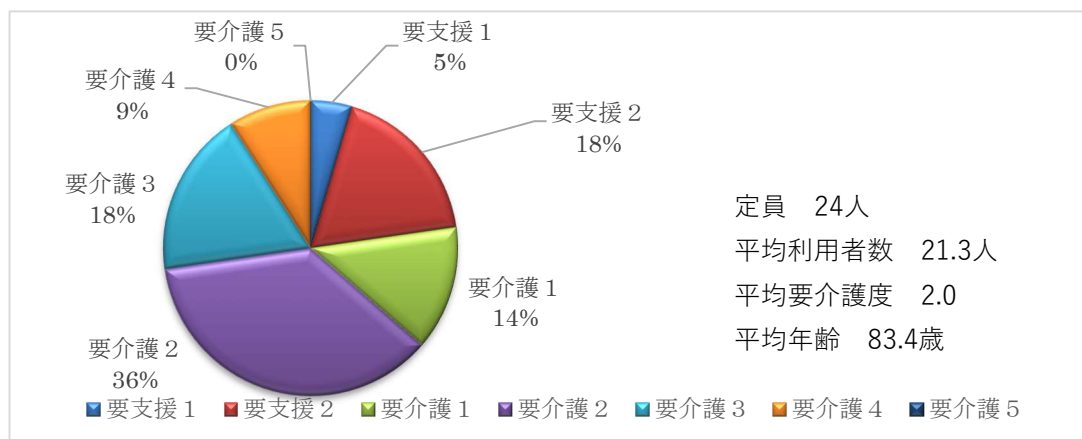
重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 栄養バランスの取れた食事の提供	① 年間の配食について昼食は利用していた方が終了となり、54食（前年度より、300食減少）。夕食も同様に利用していた方が終了し、582食（前年度より、132食減少）となりました。
(2) 周知活動	① 事業を知ってもらえるようにケアマネジャーへパンフレットを配布して、周知活動を継続しました。

5 地域支援課

総合目標及び課題

- ・ 感染予防と並行しての事業運営
- ・ I C T 化の推進
- ・ 医療・介護の連携

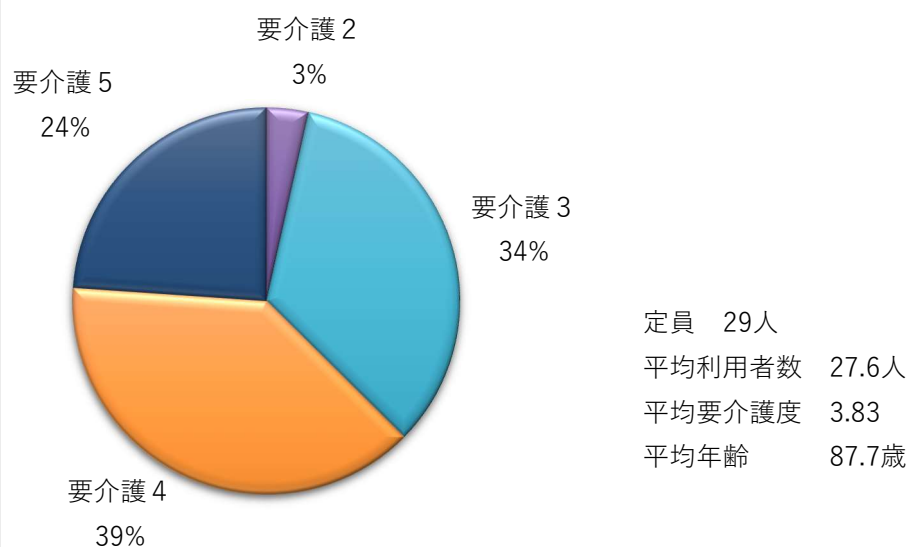
小規模多機能型居宅介護



重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 通い	① 季節に合わせた創作レク・趣味活動など、日々・個々の充実したサービスを提供出来ました。 ② 毎月食事レク・誕生日会・季節の行事など一緒に楽しめる機会を提供出来ました。
(2) 訪問	① 夏場や緊急時等、ご利用者の状態・状況に合わせた訪問をし、ご利用者の安心・安全を確保できました。 ② 訪問サービス手順書の作成には至りませんでした。
(3) 宿泊	① 定期宿泊のニーズを2名確保出来ました。 ② 臨時の宿泊希望に対応できるよう夜勤シフトを作成し、その他有料ショートを併用し対応しました。
(4) その他	① 検温や体調把握を行い、新型コロナ感染防止の取り組みを徹底し、感染者が出た際は通いサービスを中止しました。 ② ご利用者への丁寧な言葉遣いは継続し、職員間の接遇環境を整えました。 ③
(5) 稼働率維持・向上に向けた取組み	① 新規利用希望に対応できるよう人員体制を整えました。 ② 年間平均85.2%で稼働率90%には至りませんでした。



地域密着型特別養護老人ホーム



介護

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) ユニットケア	① 毎月リーダー会議を開催し、ユニットケア実現のための話し合いを行いました。24H シートの作成を進め、活用方法についても検討しました。
(2) 看取りケア	① 「看取りケア」についてのマニュアルを作成には至りませんでした。 ② 年間退所者 11 名中 4 名の方が看取りで退所されました。年々看取り対応となる方が増えており、看取りケアについての統一や質は向上しています。次年度はそれを

(3) ICT 及び IOT 化の推進	マニュアル化します。 ① 「みまもりベッドセンサー」導入後、9 名の入居者へ使用しました。入所後の情報収集や、眠剤を処方された方、不眠が続く方など目的を持っての使用を行いました。 ② 毎月のリーダー会議内で時間をとり、1 ヶ月間使用したレポートについて読み取れることを話し合いました。より活用できるような分析力を高めることが今後の課題となっています。																								
(4) 年間の催し	① 以下の催しを実施しました。 ・新型コロナウイルス感染症の感染予防のため予定していた行事の開催を中止することがありました。 ・誕生日のお祝いを外出（買い物・外食など）できない代わりに施設内で実施しました。 <table border="1" data-bbox="475 813 1217 1406"> <thead> <tr> <th>実施日</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4 月</td><td>お花見</td></tr> <tr> <td>5 月 5 日の週</td><td>菖蒲湯</td></tr> <tr> <td>6 月 22 日</td><td>ホームパーティー</td></tr> <tr> <td>8 月 20 日</td><td>夏まつり</td></tr> <tr> <td>9 月 18 日</td><td>かき氷</td></tr> <tr> <td>12 月 22 日の週</td><td>冬至（ゆず湯）</td></tr> <tr> <td>12 月 16 日</td><td>餅つき</td></tr> <tr> <td>12 月 23 日</td><td>クリスマス行事食</td></tr> <tr> <td>1 月 18 日</td><td>新年会</td></tr> <tr> <td>2 月 3 日</td><td>節分行事食</td></tr> <tr> <td>3 月 3 日</td><td>ひなまつり行事食</td></tr> </tbody> </table> お花見  夏まつり行事 	実施日	内容	4 月	お花見	5 月 5 日の週	菖蒲湯	6 月 22 日	ホームパーティー	8 月 20 日	夏まつり	9 月 18 日	かき氷	12 月 22 日の週	冬至（ゆず湯）	12 月 16 日	餅つき	12 月 23 日	クリスマス行事食	1 月 18 日	新年会	2 月 3 日	節分行事食	3 月 3 日	ひなまつり行事食
実施日	内容																								
4 月	お花見																								
5 月 5 日の週	菖蒲湯																								
6 月 22 日	ホームパーティー																								
8 月 20 日	夏まつり																								
9 月 18 日	かき氷																								
12 月 22 日の週	冬至（ゆず湯）																								
12 月 16 日	餅つき																								
12 月 23 日	クリスマス行事食																								
1 月 18 日	新年会																								
2 月 3 日	節分行事食																								
3 月 3 日	ひなまつり行事食																								

	個別お誕生日	かき氷行事
		

看護

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 入居者の体調管理	① 日頃から介護職員と情報交換（入居者の体調や精神面での変化）を行い、異常の早期発見と早期対応に努めることができました。
(2) 感染対策	① 介護職員と共に換気、手洗い、消毒に努め、入居者の感染を防ぐことができました。 ② 7 月中に全職員対象に感染症マニュアルの確認と訓練を実施しました。
(3) 嘱託医と薬剤師との関係強化と継続	① 回診時や入居者の体調変化時に適宜連絡をとり適切な医療へと繋げることができました。適切な医療を提供できるよう、嘱託医・薬剤師と連携し薬の管理に努めることができました。

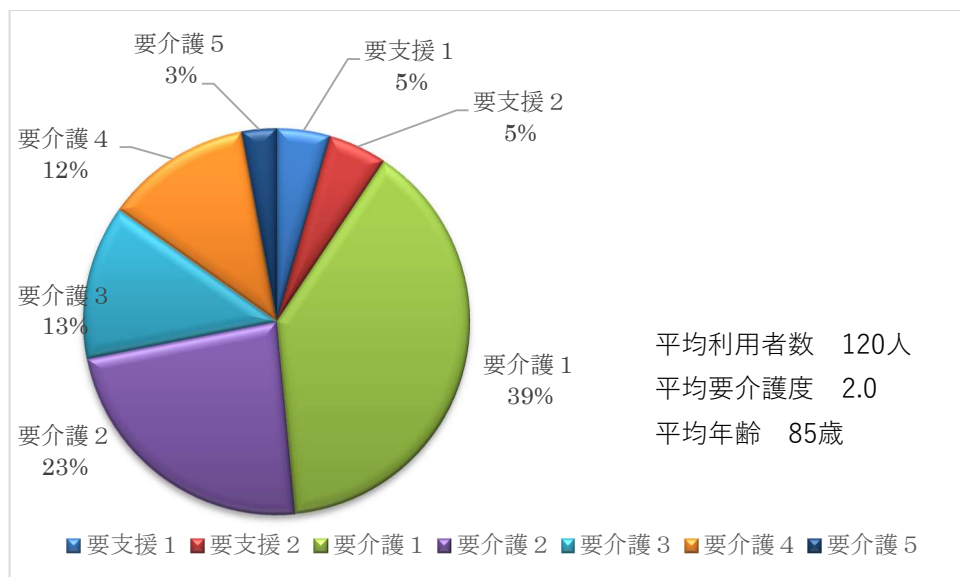
リハビリ

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 集団リハビリの実施	① 1 月より週 2 回の個別での機能訓練を開始しました。

相談

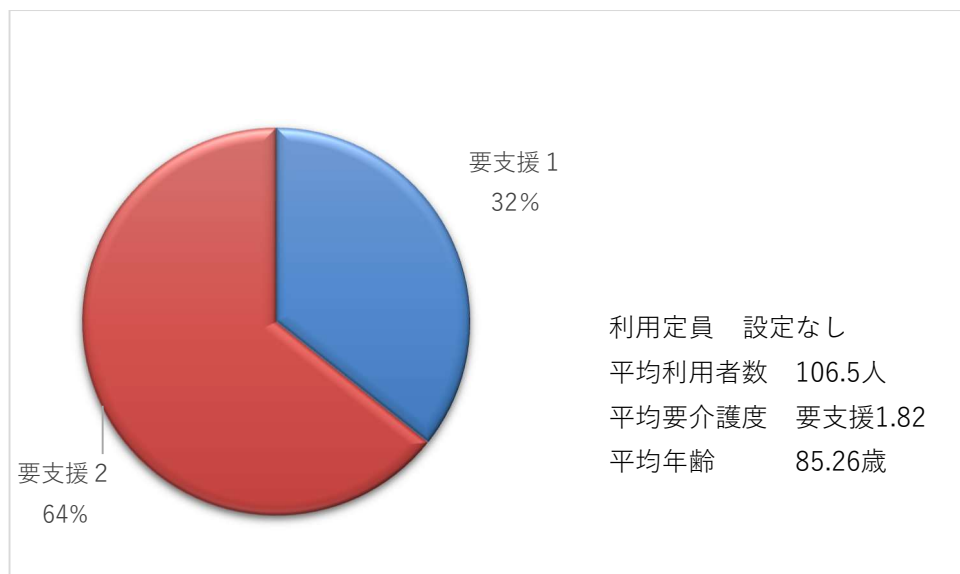
重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 入院者の病状確認	① 新型コロナのため、入院者の面会を行うことはできませんでしたが、電話にて入院者の状況確認を行いました。それにより、退院の許可が下りてから日を開けずに退院をすることができました。
(2) 稼働率維持・向上に向けた取組み	① 昨年度の稼働率は 96.0%となりました。退所者が 7 名下半期に集中し、次の入所者の調整が追い付かない状況となりました。 ② 年度内でのショートステイ受け入れ延べ日数は 82 日でした。 ③ 市内の居宅・包括事業所、近隣の病院、老健に入所案内を送りました。それにより新規入所申込者の数が増加しました。

居宅介護支援事業



重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 医療・介護連携	① 退院時カンファレンスへの積極的参加、情報共有を行い、スムーズに在宅生活ができるよう支援しました。 ② 医療、介護連携シートを使用し病院・在宅医と連絡を取り支援内容等について意見を求め、利用者・家族の不安軽減に努めました。
(2) ケアプラン作成	① 丁寧にケアマネジメント業務をする事で利用者・家族のニーズを捉え、信頼関係を築くよう努めました。 ② 担当者不在時でも迅速・丁寧に対応できるよう事業所間の情報共有を行いました。 ③ 困難な事例は包括と連携し対応しました。
(3) 人材育成	① 支援会議を3回行いました。情報共有をする事で仕事の効率化・質の向上を目的にマニュアル作成をしました。
(4) 作成率維持・向上に向けた取組み	① 上記取組みを実施し平均稼働率 99%でした。 ② 入院加算、退院・退所加算など確実な取得を行い収益に繋げました。

地域包括支援センター



重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 総合的な相談支援	① 高齢者の方々が住み慣れた地域で自分らしく生活できるよう、市役所に代わる地域の身近な相談窓口として機能できるように努めました。 ② 相談窓口の対応の間口を広げるために土曜日も開所しました。
(2) 権利擁護、虐待の早期発見の・防止	① 高齢者の権利擁護について速やかに対応しました。また権利の侵害が起きないように周知活動を実施しました。 ② 実態把握により問題の早期発見に努めました。また周知率についての項目を加え調査しました。
(3) ケアマネジャーへの支援	① 市内の地域包括支援センターと協力し、ケアマネサロン「クラージュ」を開催しました。またケアマネジャー向けの研修会を実施しました。 ② ケアマネジャーからの相談に対し、寄り添い支援しました。
(4) 介護予防ケアマネジメント	① 自立支援と介護予防の観点から、在宅生活を支援していけるように介護予防ケアマネジメントを適切に行いました。 ② 介護予防ケアマネジメントにより、介護度の重度化を防ぐように努めました。 ③ 上記取り組みを実施し、月平均で 30 件の自プラン作成を目指し、平均で 47.7 件の作成を行いました。
(5) 医療・介護連携	① 医師会主催の研修への積極的に参加・協力しました。また、ケアカフェなどの専門職同士関係づくりの場にも参加しネットワークを作りにも取り組みました。 ② 介護申請、入退院支援、ケアマネジャーの紹介など医療と介護の連携が取れるように協力関係を築きました。

(6) その他

① 地域ケア会議

- ・利用者の自立支援に資するケアマネジメントが適切に実施できるよう、介護予防支援地域ケア会議、地域ケア個別会議に取り組み、各会議3回ずつ開催いたしました。
- ・地域での課題把握やネットワーク作りのために地域ケア圏域会議を3回行いました。
- ・開催にあたり、感染症の拡大防止に努めました。

② 認知症地域支援

- ・認知症を患っても安心して慣れ親しんだ地域で生活できるよう、支援するとともに、地域での理解を促すための啓発活動を行いました。
- ・認知症地域支援専門員の活動を行い、市・やほか包括と連携し事業を行いました。
- ・地域に開かれた、現在の状況に合わせた認知症カフェを年6回開始しました。

③ 生活支援体制整備事業

- ・市や社会福祉協議会との足並みをそろえましたが、主だった活動はありませんでした。

④ 家族介護者支援（ケアラー支援）

- ・介護者教室を地域ごとに分けて2回開催しました。介護者や介護に関心のある地域の方が、介護への理解を深め、また介護負担の軽減につながるよう支援しました。
- ・自宅で介護を行う家族介護者が社会的孤立しないよう対応・支援を行いました。

⑤ 地域行事への参加・協力

- ・地域包括支援センターとして地域のネットワークに積極的に参加していくとともに、法人職員として地域に根差した施設であるための活動協力に努めました。



6 栄養課

総合目標及び課題

・豊かな食事は、利用者に笑顔をもたらし、生活の質の向上に寄与されます。安心、安全、おいしい食事を栄養課の基本理念とし、利用者本位の運営に努めます。

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 食事の質の向上に係る取り組み	① 3つの計測（量、時間、温度）を確実に行之い、出来上がりが均一になるように努めました。 ② 個人の嗜好に配慮した食事を提供するため、朝食時は主食（ご飯・パンのいずれかとそれに合わせたおかず）を選べるように食事の提供を行いました。また昼食時は主菜を2種類用意し、そのいずれかを選べるように食事提供を行いました。 ③ 特別食を月2回実施し、利用者の食生活に変化が出るように努めました。
(2) 継続性のある食事提供に係る取り組み	① 災害発生時に継続して食事を提供できる体制作りに努めました。 ② 施設内において新型コロナウイルス感染症が流行した場合も、継続して食事を提供することができました。
(3) 食べる喜びに係る取り組み	① 栄養バランス、嗜好性や食べ易さに配慮した食事を提供し、利用者の栄養状態が良好に保たれるように努めました。 ② 多職種間で連携を取り、利用者が安心して人生の最期まで口から食べることができるよう支援を行いました。（トロミ付炭酸飲料、トロミ付ビールの提供など）

4/7 (木)	春の行事食
4/19 (火)	焼飯弁当
5/5 (木)	端午の節句行事食
5/24 (火)	5 月のお弁当
6/9 (木)	ちらし寿司、刺身盛り合わせ
6/22 (水)	6 月の行事食
7/7 (木)	七夕行事食・おやつ七夕ゼリー
7/26 (火)	ちらし寿司、刺身盛り合わせ
8/4 (木)	江戸前ちらし寿司
8/24 (水)	夏の特別食
9/8 (木)	鮪アボカドユッケ丼
9/15 (木)	敬老の日特別食
10/6 (木)	秋のお弁当
10/18 (火)	江戸前寿司
11/1 (火)	のり弁 (鮭)
11/22、23	ハマチ解体ショー 22 日 (2 階)、23 日 (3 階)
12/15~17	餅つき会 15 日 (むさしの) 16 日 (ひだまり) 17 日 (デイサービス)
12/23 (金)	クリスマス行事食・おやつケーキ
1/1 (日)	元旦 (赤飯、おせち)
1/2 (月)	まぐろサーモン漬け丼
1/18 (水)	新年会 (江戸前ちらしと天ぷら)
2/3 (金)	節分行事食 (太巻きと握り寿司)
2/21 (火)	鶏づくし弁当
3/3 (金)	ひな祭り (ちらし寿司、天ぷら)
3/23 (木)	いなり寿司 2 個、握り寿司 4 個



2022/08/04 「江戸前ちらし寿司」



2022/11/01 「鮭のり弁当」



2023/01/01 「元旦 おせち詰め合わせ」